

## 要 約

試 験 委 託 者 : 環境省

表 題 : 7-メチル-1,6-オクタジエンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に  
対する急性遊泳阻害試験

試 験 番 号 : A020374-2

試 験 方 法 :

- 1) 適用ガイドライン : OECD 化学品テストガイドライン No. 202 「ミジンコ類, 急性遊泳  
阻害試験および繁殖試験」 (1984年)
- 2) 暴 露 方 式 : 半止水式 (24時間後に試験液の全量を交換)  
水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供 試 生 物 : オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴 露 期 間 : 48時間
- 5) 試 験 濃 度 : 対照区, 助剤対照区, 0.700 mg/L  
(設定値) (試験液調製可能最高濃度の限度試験)  
助剤濃度 : 100  $\mu$ L/L (ジメチルホルムアミド 使用)
- 6) 試 験 液 量 : 100 mL/容器
- 7) 連 数 : 4 容器/試験区
- 8) 供 試 生 物 数 : 20頭/試験区 (5頭/容器)
- 9) 試 験 温 度 : 20 $\pm$ 1 $^{\circ}$ C
- 10) 照 明 : 室内光, 16時間明 (800 lux以下) / 8時間暗
- 11) 分 析 法 : ガスクロマトグラフィー質量分析 (GC/MS)

試験結果：

1) 試験液中の被験物質濃度

試験液の分析の結果、測定値の設定値に対する割合は、暴露開始時において 103%、換水前において 52%であった。水中からの 50%揮散速度は約 7 時間であることから、減少の主な原因は、揮散と考えられた。

2) 24時間暴露後の結果

	(mg/L)	95%信頼区間 (mg/L)
半数遊泳阻害濃度 (EiC50)	> 0.511	算出不可
0%阻害最高濃度	> 0.511	—
100%阻害最低濃度	> 0.511	—

3) 48時間暴露後の結果

	(mg/L)	95%信頼区間 (mg/L)
半数遊泳阻害濃度 (EiC50)	> 0.511	算出不可
0%阻害最高濃度	> 0.511	—
100%阻害最低濃度	> 0.511	—